

令和8年度予算見積調書

課室名：生産振興課
担当名：花き・果樹・特産・水産担当
内線：4146 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
P79	茶業研究所試験研究費			一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び 産	蚕糸特産研究 費	茶業研究所費
事業期間	昭和22年度～	根拠法	「お茶の振興に関する法律」(第6条)		針路分野施策	121202	儲かる農林業の推進 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール9 SDGsターゲット9-b
1 事業概要	埼玉農業の競争力を強化するため、栽培管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。							
ア 環境変化対応技術や持続的生産技術の開発	1,500千円							
イ 競争力と適応力を持つ品種・系統の育成と普及	4,110千円							
ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発	1,127千円							
エ 地域の特性を生かした技術開発と指導	5,525千円							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×13人=123,500千円								
5 事業説明								
(1) 事業内容								
ア 環境変化対応技術や持続的生産技術の開発								
イ 競争力と適応力を持つ品種・系統の育成と普及								
ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発								
エ 地域の特性を生かした技術開発と指導								
(2) 事業計画(目標、達成水準、今後の計画等)								
ア 環境変化対応技術や持続的生産技術の開発								
イ 競争力と適応力を持つ品種・系統の育成と普及								
ウ 省力、低コスト、高品質生産技術の開発								
エ 地域の特性を生かした技術開発と指導								
(3) 事業効果								
本県ブランド「狭山茶」に係る戦略的な試験研究が遂行され、多様化するニーズに対応した生産技術が茶業者並びに産地に提供され、本県茶産業が発展する。								
(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況								
独立行政法人等(農研機構等)、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。								
(5) その他								
【予算項目別対応研究所】茶業研究所								
【活動指標(アウトプット)】・気象条件に対応した栽培技術確立(1技術)・新品種登録出願及び栽培加工技術確立(2品種、3技術)・各種データの収集・解析(35か所、気象・土壤データ3種)								
【成果指標(アウトカム)】・栽培技術開発数(2技術)・新品種育成累計数(13品種)・製造茶種数(3茶種)								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	12,262	財産収入	諸 収 入					
前年額	13,254	4,060	4,848				3,354	△992
			5,840				3,354	

事業内訳書

事業名	茶業研究所試験研究費		
単位事業名	環境変化対応技術や持続的生産技術の開発	予算額	1,500千円

○歳入 (単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	660	360	茶・苗木販売
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	90	90	試験研究受託事業収入
一般財源	750	△14	
合計	1,500	436	

○歳出 (単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	32	5	現地調査、会議、研修等
需用費	1,318	333	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
役務費	150	98	気象観測機器点検費
合計	1,500	436	

単位事業名	競争力と適応力を持つ品種・系統の育成と普及	予算額	4,110千円
-------	-----------------------	-----	---------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	2,440	△200	茶・苗木販売
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	1,348	△192	試験研究受託事業収入
一般財源	322	△336	
合計	4,110	△728	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	294	△1	現地調査、会議、研修等
需用費	2,866	△525	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
役務費	202	△10	切手、電話代、気象観測装置点検費、近赤外分光光度計点検費
備品購入費	748	△192	インキュベーター購入費

単位事業名	競争力と適応力を持つ品種・系統の育成と普及	予算額	4,110千円
-------	-----------------------	-----	---------

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	4,110	△728	

単位事業名	省力、低コスト、高品質生産技術の開発	予算額	1,127千円
-------	--------------------	-----	---------

○歳入	(単位 : 千円)		
款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	210	△400	茶・苗木販売
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	200	0	試験研究受託事業収入
一般財源	717	△182	
合計	1,127	△582	

○歳出	(単位 : 千円)		
節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	67	△1	現地調査、会議、研修等

単位事業名	省力、低成本、高品質生産技術の開発	予算額	1,127千円
-------	-------------------	-----	---------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	1,060	△581	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
合計	1,127	△582	

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,525千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	750	240	茶・苗木販売
諸収入・ 蚕糸特産及び水産業受託事業収入	3,210	△890	試験研究受託事業収入
一般財源	1,565	552	
合計	5,525	△98	

単位事業名	地域の特性を生かした技術開発と指導	予算額	5,525千円
-------	-------------------	-----	---------

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	339	9	現地調査、会議、研修等
需用費	4,835	△15	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
役務費	351	△92	切手、電話代、気象観測装置メンテナンス費、農機具点検費、分析機器点検費
合計	5,525	△98	